

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
予防理学療法学		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t-mishina	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	法律上理学療法士は後遺症のある人が業務上の対象となる。しかし、昨今予防場面における理学療法士のかかわりが注目されている。成人病予防、介護予防における理学療法士の介入が期待される中、各対象者の視点で理学療法士に求められる介入方を検討し理解する。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	スライド資料を提示しながら講義を進める。必要に応じて適宜課題を提示したうえで、学生に意見・感想を述べてもらう。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	医療・介護保険分野の予防領域を列挙し説明できる。			PT(1)~(6)	
②	各種予防領域における理学療法士の介入の必要性を説明できる。			PT(1)~(6)	
③	各種予防領域における理学療法士の介入方法を説明できる。			PT(1)~(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	一次、二次、三次予防など医療制度における予防概念を学修する。	同時双方向型授業	医療制度下の予防概念を復習する。	4	
2	転倒予防、介護予防など介護保険制度における予防概念を学修する。	予防概念を学修する。	介護保険下の予防概念を復習する。	4	
3	メタボリックシンドロームの予防における理学療法士の役割を学修する。	同時双方向型授業	メタボリックシンドロームの予防を復習する。	4	
4	ロコモティブシンドロームの予防における理学療法士の役割を学修する。	同時双方向型授業	ロコモティブシンドロームの予防を復習する。	4	
5	スポーツ場面における予防概念を学修する。	予防概念を学修する。	スポーツ障害の予防を復習する。	4	
6	老年期症候群の予防における理学療法士の役割を学修する。	同時双方向型授業	老年期症候群の予防を復習する。	4	
7	労働災害の予防における理学療法士の役割を学修する。	同時双方向型授業	労働災害の予防を復習する。	4	
8	これまでの学習の総括	同時双方向型授業	これまで提示した国家試験過去問題の再解答を行う。	4	
試	成績評価 到達度評価・評価のポイント参照				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義 8 回終了後単位認定試験を行う。出題形式は五者択一(及び二)の国家試験形式にて客観的試験を行う。				設問の意図と模範解答を希望する学生には開示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	理学療法学コース専任教員 3 名 (5, 6, 7 回を担当)						
教員の実務経験	医療機関及び介護保険関連施設にて 8 年間の実務経験						
実践的授業の内容	理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。</li> <li>・ 同時双方向型授業では Microsoft Teams を使用する。</li> <li>・ 授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。</li> <li>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバス変更の可能性はある</li> </ul>						